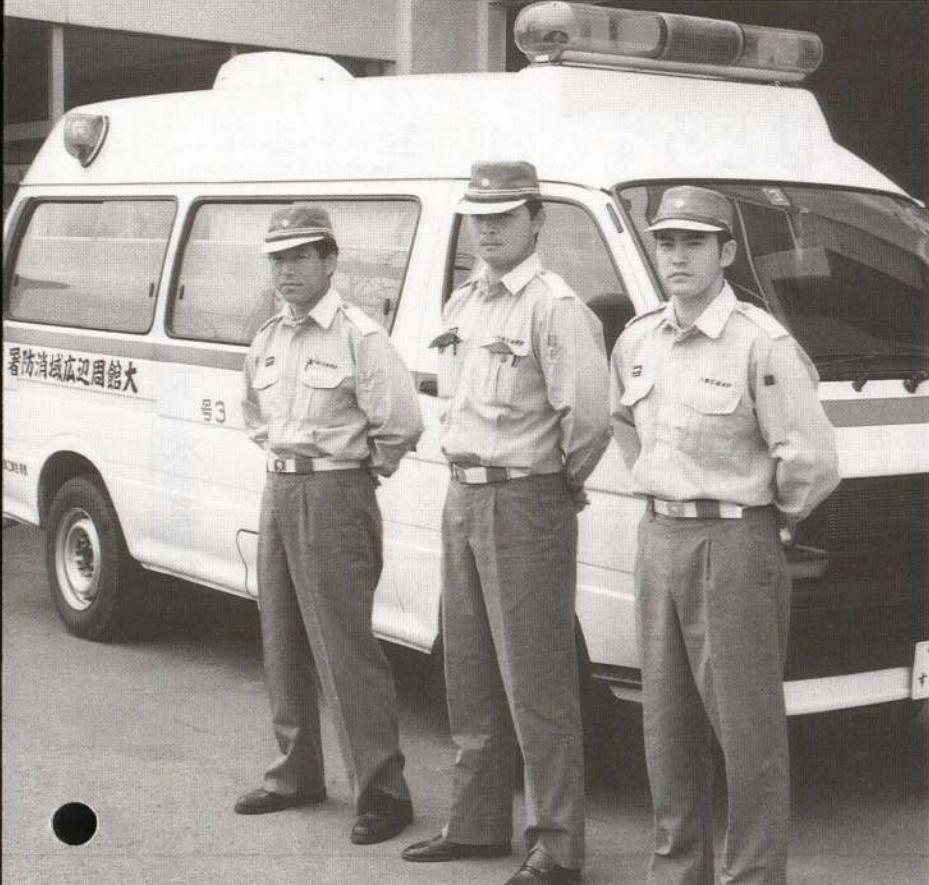


9月9日は「救急の日」

いざといふときのために おぼえよう救命手当

私たちの社会の中で切つても切れない存在となつた「救急車」。

毎年、九月九日は「救急の日」です。救急車の正しい利用の仕方など、これから救急医療について紹介しながら皆さんとともに考えてみたいと思います。



救急とは

皆さんの中には今までに救急車を利用したかともいると思います。

大館広域消防本部管内（大館市、比内町、田代町）で平成六年中に救急車が出動した件数は、千四百十六件、搬送人員は千三百九十八人で一日平均三・九回でした。

救急車とは、急病人、けが人を医師に引継ぐまでの応急手当や処置をしたり、また、医師の医療が円滑にできるように準備しながら病院へ搬送するための車です。

救急車を呼ぶとき

救急車をむやみに使うと、本当に救急車を必要とするかに迷惑がかかります。救急車はタクシーではありません。呼ぶときには、もう一度落ち着いて考えましょう。

119番を回したら

救急車は局番なしの一九番で

す。あわてて一一〇番と間違えないようにしましょう。

一一九番を回し消防署が出たら、まず、落ち着いてはつきりと、患者のいる場所、どんな事故か、どんな状態かを簡単に言いましょう。

また、患者の数、性別、おおむねの年齢なども伝えましょう。

そのうえで、病気の症状を一言つけ加えておくと、救急車にも伝えることができ、その間に病院を手配することができます。

また、あなたがだれなのか、はつきりと伝えることや、救急車が問

軽傷者の利用が多い

昨年の搬送人員は千三百九十八人でしたが、そのうち軽傷（入院を必要としない）が五百三十二人、中等症（重傷または軽傷以外）が五百人、重傷（三週間以上の入院）が三百十八人、死亡四十八人で軽傷が全体の四割を占める状態です。

団地やアパートなら〇〇荘、〇〇棟の△階×号室というように詳しく伝えましょう。

遠わずに目的地に到着できるように場所を明確に説明することも大切です。地名、地番、道順などを言つてください。詳しい地名がわからないときは、通りの名前や目標を伝え、道路など救急車から見えやすいところで手を振るなどの合図をして救急車を誘導してください。

救急フェア

- 開設コーナー
- 救急車及び装備資器材の展示コーナー
- 救急ビデオ上映とパネルの展示・応急処置の講習会
- 健康相談の実施と血压測定

とき・9月9日(土)10時30分~15時30分
ところ・ジアスコ大館店ふれあい広場

「救急車はどんな働きをしているのでしょうか。また、どんなものを装備しているのでしょうか?」そんな疑問をお持ちになつたことはありませんか。そんなあなた、一度救急フェアを見学してみてはいかがでしょうか。